復興7	令和8年度 地域課題研究ゼミナール支援事業　中間報告		
指導教員	金沢工業大学　藤井健史	参加学生数	11
連携ゼミ			
課題タイトル	垣吉町第一仮設住宅団地における住環境改善と住民の能動的なコミュニティ形成の促進		
活動地域	七尾市	連携団体等	垣吉町第一団地自治会
活動概要	令和6年度能登半島地震の被災地に建設された仮設住宅団地において、居住者の方々の安らぎのある住環境と豊かなコミュニティの形成を支援する目的で、北陸三県の大学・高専を中心とした任意団体GAPPA notoが設立された。本活動はGAPPA notoの活動の一環として、金沢工業大学藤井研究室が担当する七尾市の垣吉町第一団地（66戸）を対象に実施する。 住民へのヒアリング等から、住民からの相談に基づく収納改善の実施と住民が主体的に関われる交流機会の創出を、垣吉町第一団地自治会と連携して実施していきたい。		
活動状況	7月20日：住民参加人数約20名 垣吉町第一団地と舟尾町第一団地で段ボール収納「パタラック」の組立・配布WSを実施。 9月27日：住民参加人数約20名 午前：地域の運動会に参加し、協議参加と運営補助を実施。 午後：垣吉町第一団地と舟尾町第一団地で木材を使った一輪挿し花瓶づくりWSと焼き芋お茶会を実施。		
今後の予定	11月中予定： 楽焼の陶芸家を招いた絵付けWSを企画中。参加者が絵付けした作品は窯に持ち帰り 完成させ、後日仮設住宅に郵送する予定。 1～3月： 2回のWSと年間活動の総括を実施予定。		

活動の写真





